

平成 29 年 3 月 6 日

政務活動費成果届出書

届出者 山田清一

- 使途項目 (○をつける) 調査研究・研 修・広 報・資料作成・資料購入
 ○タイトル

公共施設の老朽化対策と公共施設マネジメントについて

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

半田市においては、平成 24 年度に公共施設白書が策定され、平成 26 年度には公共施設更新計画が策定された。そして、平成 28 年度には公共施設等総合管理計画が策定される予定となっている。各計画が半田市に即した計画であるのか、改善するべき点はないか、将来を見据えた計画であるか、計画策定後の取り組みはどうか等、専門的な学習を書籍から学ぶ。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

- ・ 目的は達成できた。
- ・ 老朽化した校舎・体育館・図書館・公民館・文化施設などへの今後の対応策として、統廃合や利活用の計画についての取り組み方や、施設の更新・維持・管理・活用の効果的な方法について事例から学んだ。
- ・ 全国各地において、公共施設の廃止・統合など再編が進んでいる中で、再編の背景にある国の政策が整理されており、先行事例から自治体の計画と再編について紹介されており、今後の公共施設のあり方について学んだ。

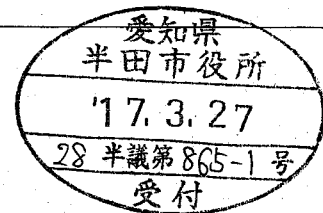
○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・ 少子高齢社会の進展にともなう税収減や扶助費の増大などの状況の変化に応じた、公共施設におけるサービスの提供と安定した財政運営の両立が必要であり、公共施設等総合管理計画は「計画のための計画」にとどまらないように、計画策定後の実践につながる具体的な取り組みを推進すること。
- ・ 公共施設等総合管理計画は、今後の人口減少を見据え施設総面積の圧縮が基本となるが、経費削減と受益者負担の見直しや、民間の発想による収益事業の転換など、公共施設を公民連携の手法で最大限に活用する発想が必要であり、全体を把握しマネジメントする組織と専門的な人材が必要である。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

公共施設等のインフラ老朽化の問題は、市民生活に直結した深刻な問題であり、将来を見据えた効率的な施設の統廃合は避けて通れない状況であり、合意形成に最大限気を配り、市民とともに着実に推進していくことが重要である。

| | | |
|-----|----|-------|
| | 議長 | 管理委員長 |
| 確認欄 | | |



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

| 日にち | 時間 | 内容 | | 金額 (円) | 領収書 No. |
|-------|----|-------------------------------|------------|--------|------------|
| 1月17日 | | 先進事例から学ぶ成功する 公共施設マネジメント | 学陽書房 | 3,024 | ① |
| 1月17日 | | 公共施設の再編を問う「地 方創生」下の統廃合・再配置 | 自治体 研究社 | 1,296 | ① |
| | | | 合 計 | 4,320 | |

平成29年3月6日

領収書等貼付用紙

議員名 山田 清一

タイトル

公共施設の老朽化対策と公共施設マネジメントについて

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

領収証

NO. 0088 - 13-005567

山田 清一 様

2017年01月17日

担当者: 村上 良

¥4,320-

(税 ¥320) 但 書籍代として
上記正に領収致しました

責任者: 村上 良

内訳

現金等: ¥4,320-
外: ¥0-
その他: ¥0-

株式会社 三洋堂書店

乙川店 TEL 0569-32-3234 この紙は感熱紙を使用しております。
本社 名古屋市瑞穂区新開町18番22号 保管にはご注意ください。

0342

